カワセミ通信

No.185
11月

発行：彩湖自然学習センター（みどりパル）　発行日 2026.11

季節のいきもの　～水位の変化に生きる植物～

１１月にもなると、草木は葉を落とし、実をつけ、春の準備にとりかかるものですが、彩湖湖畔の護岸では、早めに花をつけ、長く実をつけている光景が見られます。彩湖は水位の変化があるので湿地や半湿地という環境の変化があり、そのため、１年草の植物が多く見られるところです。

では、護岸で生育している植物を紹介したいと思います。

1　水位に関係なくほとんど水につかるところ（護岸の下）…湿地

◦キシュウスズメノヒエ（イネ科）

湿地に生える１年草。和歌山（紀州）で見つかったのでこの名がついた。花穂が二股に分かれる。



キシュウスズメノヒエ

◦ヒレタゴボウ（アメリカミズキンバイ）（アカバナ科）

高さ１ｍにもなる１年草。原産地アメリカ東南部湿地に生える。（帰化植物）



ヒレタゴボウ

◦ケイヌビエ（イネ科）

流れの縁や湿地に生える１年草。名はヒエに似ているが、食用にならないことによる。



ケイヌビエ

2　水位が上がったとき水につかるところ（護岸の中央）…半湿地

◦クルマバザクロソウ（ザクロソウ科）

市街地にまれに見られる１年草。熱帯アメリカ原産。江戸時代末期に渡来し、帰化している。

◦スベリヒユ（スベリヒユ科）

畑や道ばたに生える多肉質の１年草、名は滑りヒユで、ゆでて食べるとぬめりがあるからとか。



クルマバザクロソウ



スベリヒユ

◦カヤツリグサ（カヤツリグサ科）

田畑のあぜや道ばたなどに生える１年草。三角の茎を二つに裂き、蚊帳を吊ったような四角を作って遊んだことから蚊帳吊草と呼ばれる。

◦アオガヤツリ（カヤツリグサ科）

田畑のあぜや道ばたなどに生える丈の低いやや柔らかな１年草。



カヤツリグサ



アオガヤツリ

水につかる時期の長さを上手に利用して短期間で生長し、次の世代に交代させる植物の姿がありました。なお、護岸は水位の変化があり、滑りやすいので岸辺近くによるのは大変危険です。護岸の上から観察してくださいね。（T.W）

夕日に合わせた開館時間延長

開館延長　11月21日（土）～12月27日（日）16:45まで

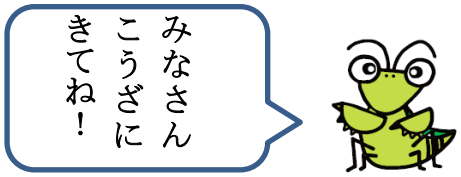
（休館日を除く）5階展望室と展望広場　16:15頃からが見ごろです

「関東の富士見百景」に選出された彩湖からの富士山の眺めを夕暮れ時にぜひご覧ください



写真は 2022 年撮影

講座案内（12月～1月）



カマリン

１２月２０日（日）「彩湖周辺の野鳥観察③」【市民大学講座】※雨天実施



彩湖周辺をバスで巡り野鳥を解説付きで観察します。

◇対　象：誰でも（小学３年生以下保護者同伴）

◇定　員：２０名　◇時　間：１０：００～１２：００

◇持ち物：双眼鏡（貸出可）、防寒着　◇参加費：１００円（教材費・保険代）

※申込受付：市内在住・在学・在勤の方は、１１月２０日（金）午前１０時から、それ以外の方は１１月２１日（土）午前１０時から申込フォームで申込（電話不可）

１２月２６日（土）「和凧をつくろう」※雨天実施



和紙に絵を描き、竹ヒゴを使って和凧を作ります。

◇対　象：誰でも（小学生以下保護者同伴）

※１組１個（２個作成や４人で参加の場合は２組扱い）。付添者は入れません。

◇定　員：１０組（大人だけの参加も可）◇時　間：９：３０～１２：００

◇持ち物：凧を持ち帰る袋（大きめのビニール袋等）◇参加費：４００円（教材費・保険代）

※凧の絵の下書きを実物大で描いてきてください。（大きさはタテ 47cm ヨコ 32cm）

※申込受付：市内在住・在勤・在学の方は、１１月２６日（木）午前１０時から、それ以外の方は１１月２７日（金）午前１０時から申込フォームで申込（電話不可）

１月１０日（日）「彩湖周辺の野鳥観察④」【市民大学講座】※雨天実施



野鳥観察シリーズ④です。寒い冬は野鳥観察にはもってこいの季節。

猛禽類（もうきんるい）やカモ、カイツブリの仲間などを観察しに来ませんか。（バス利用）

◇対　象：誰でも（小学３年生以下は保護者同伴）

◇定　員：２０名　◇時　間：１０：００～１２：００

◇持ち物：双眼鏡（貸出可）、防寒着　◇参加費：１００円（教材費・保険代）

※申込受付：市内在住・在勤・在学の方は、１２月１０日（木）午前１０時から、それ以外の方は１２月１１日（金）午前１０時から申込フォームで申込（電話不可）

☆申込方法：彩湖自然学習センターホームページの各講座案内のページから申込フォームに入れます。

参加費は当日にお支払いください。

〒335-0031　戸田市大字内谷 2887　℡ 048(422)9991

講座案内はこちら

ホームページはこちら